

法律科目試験 「刑事法系」 問題

I 次の事項について、それぞれ 300 字以上 400 字以内で説明しなさい。

- (1) 保障人的地位
- (2) 公務執行妨害罪における「職務」と業務妨害罪における「業務」の関係

II 次の事例について、甲と乙の罪責を論じなさい（特別法違反の点は除く）。

甲（女、25 歳）は、何の気なしに立ち寄った宝石店で、陳列棚に飾ってあった価格 400 万円の指輪に心を奪われ、これがどうしても欲しくなった。しかし、自分には到底手の届かない値段であったため、金を払わずに持ち去ろうと考え、店員 X に、この指輪が気に入ったので試しに指にはめて見たいと持ち掛けた。X がこれに応じた後、甲は、この品を買いたい、クレジットカードの入っている財布を店輔に隣接する駐車場に駐めた車の中に置き忘れて来たと言ったと告げ、店のすぐ外に駐車中の第三者の高級車を窓越しに指差した。X は、甲の気品ある風貌を見てその言を信じ、甲が指輪をはめたまま一旦車に戻ることを許可したが、用心のために店の玄関まで甲を見送った。しかし甲は、歩道を 10 メートル程歩いて駐車場の入口の前まで来ると、その中には入らず、いきなり歩道を走り出して逃げた。これを見た X は直ちに後を追ったが、甲が雑踏に紛れ込んだためその姿を見失った。

しばらく身を隠すことにした甲は、その足で駅に行き、友人の乙（女、25 歳）を呼び出した。甲は、やって来た乙に、指輪を入手した経緯を話した上で、自分が戻って来るまでの 1 ヶ月程の間、これを預って欲しいと頼んだ。乙は承諾し、甲は乙に指輪を渡して旅立った。しかしその一週間後、乙は自己の借金の返済期日が迫っていることに気付き、この指輪を換金して返済に充てることに思い切って、これを 50 万円で売り飛ばした。